

平成27年度第2回青森県立郷土館協議会について（会議概要）

今年度第2回の青森県立郷土館協議会が開催されましたので、その内容をお知らせします。

1 日時

平成28年1月29日（金） 午後1時30分～3時30分

2 場所

青森県立郷土館 小ホール

3 協議内容

- (1) 議長及び副議長の選任
- (2) 平成27年度事業実施状況及び利用状況
- (3) 平成28年度事業実施計画（案）
- (4) 青森県立郷土館の博物館評価
- (5) その他

4 協議内容についての質疑・回答事項

- (1) 平成27年度第1回郷土館協議会後の対応について

ア 展示事業について

資料展示について、現在の我々の生活とどう結びつくのかという視点から興味を引くよう、資料の配列、解説等を工夫して、現在・過去・未来がつながるようにしていく。

イ 資料の収集・保存について

資料の収蔵スペースの確保について、県の休眠施設の利活用の方面で関係当局に要望し続けるほか、収蔵庫内の整理によるスペースの確保にも努めていく。

ウ 教育普及事業について

- (ア) 出前授業については、昨年11月に開催した青森県博物館等協議会の博物館大会において、大会テーマを「収蔵資料を学校の授業で活用した学習支援」として、当館の実践報告を行う等により、地元の教育委員会や資料館の方々に状況を知ってもらい、地元による学校支援の促進を提案した。また、1月には、教員を対象に博物館研修を行い、学校での実物資料の活用等について実践的な研修を行った。
- (イ) 子ども職場参観日は、学校に限らずそのつど受け入れに具体的に対応していく。

エ その他

- (ア) デジタルミュージアムでの展示にポップで紹介文を加えることについては、システム設計上、展示資料個々のコメントはできない。
- (イ) 博物館評価について、外部の声の反映として、アンケートの声なども参考に、評価に具体的内容を加え、さらに、次年度の目標設定にも反映させていきたい。
- (ウ) 郷土館の建物自体が登録有形文化財ですばらしいものであり、そのことを知ってもらえるように、できることから取り組んでいきたい。今年度は、郷土館デジタルミュージアムに館内ビューのメニューを取り入れるほか、館内イベントとして落語会などこれまでにないものを実施して、新たな関心を呼ぶように努める。
- (エ) 館内での写真撮影の禁止に疑問を持たれていることについては、当館では、展示資料の中には借用資料もあり、著作権侵害ということも考えられるため、受付でその旨を申し出ていただき、そのつど許可している。しかしながら、現在、資料管理・利用の双方の観点からさらに検討を行っている。
- (オ) エレベータの設置について、全協議会委員から強い応援をいただき、当館では委員の意見を交えて平成28年度当初予算要求に鋭意努力した。

(2) 広報広聴活動について

ア アンケートの回答の中で大変不満だというものがあるが、どういう内容なのか。

(回答)

順路がわかりにくいということと、解説員の解説内容が不満だというものである。

イ 外国人への対応について、これからは韓国語、中国語への対応も必要ではないか。

(回答)

郷土館の案内リーフレットを4か国語（英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語）対応で作製し、この春から配布する予定である。

(3) 管理運営一般について

ア 解説員の雇用形態、募集方法はどのようなものか。

(回答)

募集をしているのは指定管理者グループの構成員の東奥日報サービスで、ハローワークに求人を出している。雇用形態は契約社員で、期間は半年ごとの更新である。

5 協議内容に対する意見・感想

- 企画展等の周知について、もっとマスコミに取材してもらうなどの工夫をしてほしい。
- 出前授業は、要望に応えきれないほど人気があり、宝と言える。もっと要望に応えられるように体制の強化を図ってほしい。

- 特別展等から常設展への誘導について、もっと工夫してほしい。
- アンケートの回収率を上げるために、聴き取りアンケートを行うなどの工夫をしてほしい。
- 憩いの場について引き続き検討してほしい。
- 解説員の解説のレベルに驚いたことがあるが、県立の博物館の解説員としてのレベルに高めるためには、雇用上の身分、相応の給与など意欲を高めるための環境づくりが必要である。
- 常時でなくともよいので、学芸員が来観者のニーズに応えられるようにしてほしい。
- ふるさとの素材を教材化するために、教職員に働きかけていってほしい。
- 展示の見せ方について、目を引くような解説文を工夫するなど改良していってほしい。
- 協議会では、委員の発言時間をもっと多くして、より多くの自由な意見により議論を展開できるようにしてほしい。
- デジタルミュージアムについては、展示資料の紹介文はやはり必要だと思うので、その対応のために必要であればシステム変更をしてでも対応してほしい。
- 協議会としては、郷土館は青森県を代表する博物館として、もっと県からの予算上の配慮が必要だと考えている。